

(様式1)

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1	施設名	(所管課)
	富山県有峰森林文化公園	森林政策課
2	施設所在地	
	富山市有峰	
3	施設設置年度	
	平成14	年度
4	設置目的	
	豊かな森林を有する有峰において、森林と人との密接な関わりの中で創られた森林文化を継承するとともに新たな森林文化を創造すること。	
5	施設概要	
	敷地面積：97,828㎡ 主な施設 ・有峰ハウス（宿泊施設）：木造平屋一部二階 834㎡ ・ビジターセンター（展示室・事務室）：鉄筋コンクリート造平屋 196㎡ ・キャンプ場ロッジ（倉庫）：鉄筋コンクリート造平屋 164㎡	
6	指定管理者	
	公益社団法人富山県農林水産公社	
7	指定期間	
	5	年
	平成30年4月1日	～ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
1,489	1,607	1,464	1,175	1,606

※有峰ハウス、キャンプ場(宿泊)、テニスコート利用者数の合計

(2) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
12,179	16,027	15,355	20,177	20,467

※(1)を除く施設利用者数の合計

(3) 開催イベント参加者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
1,143	2,008	538	425	530

(4) 利用（使用）料金収入（千円）

H30	R1	R2	R3	R4
6,715	6,573	6,013	5,611	7,252

(5) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H30	R1	R2	R3	R4
7,097	7,122	7,229	7,229	7,229

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和3年度と比較し、利用者数・収入は共に増加した。
これは、①有峰が密を避けやすい場所であること、②令和3年10月に小見線の2車線化によりアクセスが容易で気軽な散策場所とし、県民等に広まったことから、主に県内の日帰り利用者が増加したことが要因と考えられる。

(2) サービス向上に向けた取組み

①新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度に引き続き、行事の参加者人数の制限や宿泊行事を日帰り行事とし、また、全て事前申し込みとした。また、行事開催時や各種施設での消毒、検温を徹底した。
②有峰ビジターセンターにおいて、旬の情報(今週の見ごろ写真や活動・調査報告)を掲示するとともに大型モニターによる有峰の情報や良さを発信した。
③有峰ハウス宿泊者に対し、ミニ観察会や星空観察会などを開催し、有峰の魅力を伝えた。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

①宿泊施設(有峰ハウス)については、消毒の徹底、食堂のレイアウト変更による3密の回避など、宿泊者が安心して利用できる環境作りを実施した。
②ホームページ(ありみネット)については、最新情報の更新や各種行事の開催案内を順次更新、遊歩道案内のマップや見どころの情報発信を行った。
③冷た谷キャンプ場については、利用者が使いやすいよう環境設備(草刈りや給水施設等)を適時に行った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	有峰ハウスフロントにアンケート用紙を置いて宿泊者に記入してもらっている。(ハウス営業期間：6月～11月に実施)
回答者数	203人
結果	総合評価欄 「大変満足」 47.4% 「ほぼ満足」 46.3% 「普通」 4.2% 「やや不満」 2.1% 「不満」 0.0%
結果を踏まえた改善事項	シャワー用温水器の改善について検討している。

②その他利用者の声を反映させる取組み

文化村行事ごとに、アンケートを記入してもらい、集計して、年度末の有峰森林文化村会議懇話会に報告し、次年度の計画立案に活かしている。

③主な苦情と対応

特になし。

(5) 個人情報保護の取組み

協定書に定める内容について、職員に通知を回っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

立山カルデラ砂防博物館や、立山博物館などの近隣施設と連携し、相互の施設のPRを行い、地区全体での利用者が増加するように努めた。

(7) 施設・設備の維持管理

遊歩道などの施設は、行事で使用する前及び2週間に1回程度、巡視点検を実施し、施設の安全利用に努め、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

クマ対策に総合的に取り組んだ(①来訪者への普及活動(パンフ配布、注意看板設置、出没マップ掲載等)、②職員による巡回活動(生ごみの回収等)、③村内での自主活動(生ゴミ回収の徹底、侵入防止対策の実施、撃退対策の準備、適切な威嚇行為の実施)

10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	6
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	2
③個人情報に関するトラブルの有無	無	-
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

ホームページ等により、有峰ならではの魅力(有峰盆地の成り立ちや小さな動物たち)を学ぶ行事等の実施や旬の情報を詳細に伝え、有峰林道(小見線2車線化)によりアクセスしやすい場所になったことをPRし、有峰への再訪に繋がられるよう努められたい。